

地理空間情報産学官連携協議会
防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備
ワーキンググループ（第1回）

日時：平成20年12月16日（火）14:00～16:30

場所：中央合同庁舎第5号館低層棟2階厚生労働省講堂

議 事 次 第

1 開会

2 議事

(1) 防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備ワーキンググループについて

(2) 情報提供

①内閣府からの情報提供

- ・災害リスク情報の利活用方法検討作業のアプローチ（案）について
- ・災害リスク情報の体系化作業について
—既存の災害リスク情報体系をベースにした作業手順イメージ（例）—

②その他既存の取組等に関する情報提供

- ・「防災情報の流通において、官はどこまでやればよいか？」
(頑張りすぎず、全体の円滑化を)」

柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター センター長・教授

- ・「国民一人一人を防災行動に誘導するための地理空間情報の活用」

福和 伸夫 名古屋大学大学院環境科学研究科 教授

- ・「災害リスク情報プラットフォームの研究開発について」

藤原 広行 (独) 防災科学技術研究所 防災システム研究センター プロジェクトディレクター

- ・「河川局における地名辞典の整備状況」

安原 達 国土交通省河川局河川計画課河川情報対策室 企画専門官

- ・「気象情報をさらに有効に活用して頂くために

～XML形式による提供に向けて～」

山腰 裕一 気象庁総務部企画課 企画係長

(3) 本年度の防災WGの活動のスコープについて（案）

(4) その他

3 閉会